

山梨県国民健康保険団体連合会理事会議事録

山梨県国民健康保険団体連合会

1 開催日時

令和4年7月15日（金）午後1時30分～2時30分

2 開催場所

山梨県甲府市蓬沢 1-15-35
山梨県自治会館 講堂

3 出席者

理事長	内藤久夫		
副理事長	上村英司（欠）	長田富也	
常務理事	小島徹		
理事	成島春仁	高木晴雄	
	保坂武（代）	望月幹也（代）	
	佐野和広	山崎泰洋	
	手塚司朗（代）		
監事	堀内茂	天野多喜雄	
	堤マサエ		

4 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 理事総数 11 名のうち 10 名の出席があった為、理事会は有効に開催された。

(2) 理事長挨拶

- ・本日は山梨県国民健康保険団体連合会の役員会を開催いたしましたところ、役員の皆様方には公務ご多忙の中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、平素より、当連合会の事業運営に多大なご尽力を賜っておりますことをこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。
- ・さて、本年6月7日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2022」、所謂「骨太の方針」によりまして、政府においてはデジタル庁を中心に「デジタル社会の実現に向けた重点計画」に基づき、行政のデジタル化を着実に推進することとされました。
- ・加えて令和4年度末には、ほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指すとの方針の下、マイナンバーカードの利活用拡大等の利便性を高める取組みを推進することとしております。
- ・当連合会といたしましては、マイナンバーカードの健康保険証の利用など、令和3年10月に本格運用を開始したオンライン資格確認等システムを活用した取組みが着実に進められるよう、引き続き、国保中央会と連携を密にし、適切に対応して参る次第であります。
- ・今後も、診療報酬、介護給付費等の審査支払業務はもとより、医療保険分野などのデジタル化の推進、新型コロナウイルス感染症対策関連事業の実施など、これまでに培ってきたノウハウを最大限生かして、保険者等の支援に積極的に取り組んで参りたいと考えておりますので、皆様方におかれましては、引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。
- ・それでは、本日の附議内容について申し上げます。

- ・本日、皆様にご協議いただくのは議決事項2件であります。主な内容は令和3年度の事業報告及び決算であります。
- ・なお、この役員会に先立ち、今月5日には「富士吉田市の堀内市長様」、「忍野村の天野村長様」、「県立大学の堤名誉教授様」に監査を実施いただき、財務処理など概ね適切に執行されているとの確認をいただいたところであります。
- ・この後、事務局から説明いたしますので、慎重なご審議をいただきますようお願い申し上げます。本日はよろしくようお願い申し上げますと挨拶があった。

(3) 本会規約第29条の規定に基づき、理事長が議長となり議事を開始した。

(4) 本会規約第34条第2項の規定により、理事2名（高木理事、佐野理事）が、議事録署名理事に選任された。

(5) 議案及びその審議状況は次のとおり。

①議案

- ・議第1号 通常総会の招集について
- ・議第2号 通常総会に提出する案件について

②審議の状況

- ・議第1号
議第1号について、事務局から提案説明があり、採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。
- ・議第2号
議第2号について、案件数が多いため、分割して事務局から提案説明があり、監事より事業執行状況並びに各会計決算について監査報告を行い、採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。
- ・閉会

この議事録が正確であることを証するため、署名する。

令和4年7月15日

議 長 内 藤 久 夫

議事録署名理事 高 木 晴 雄

議事録署名理事 佐 野 和 広